

ネイチャーゲームリーダー講座を実施。

みなさん合格おめでとう。



大阪産業大学デザイン工学部

環境理工学科通信

第3号

2018.1.27

OBインタビュー 考えようあなたのキャリア
データで見る先輩の就職
環境理工学科が目指す就職先
インフォメーション

考えようあなたのキャリア



(株)テラモト

今井亮佑さん | 2017年3月卒業



(株)アイテック

村井達哉さん | 2015年3月卒業



(株)東京設計事務所

ギホウヒ 魏鵬飛さん | 2014年3月卒業

QUESTION1

お仕事の内容をおしえてください

清掃用品などの設備品を製造している会社で創業90周年を迎えました。本社は大阪にあり、北は札幌、南は福岡まで営業所があります。新規事業として喫煙ブース、ペット向けの商品などを展開しています。産大では5号館の喫煙ブースや玄関マットなどが本社の商品です。

民間受託企業として公的機関の業務の請け負う仕事をしています。昭和56年に創業し、従業員数が2,100人の会社です。業務は上下水道、浄水施設・下水処理施設の維持管理等の請け負いがメインです。水質分析や化学分析も行っています。

主に上下水道、環境分野に特化したコンサルティンググループで、昭和34年創業、現在350人ほど在籍しています。社員の半数以上が様々な国家資格を持つ水環境技術のプロフェッショナルです。国や自治体に代わってインフラ整備に関する調査・設計・計画・管理などを行います。

QUESTION2

お仕事で役立つ資格はありますか

特にありません。仕事では環境美化商品を取り扱っているのですが、廃棄物に関する講義で学んだことが役に立っています。

環境計量士(3万円の資格手当)と技術士(10万円の資格手当)です。技術士は実務経験が必要なので在学中は技術士補の取得がおすすめです。

公害防止管理者の取得をおすすめします。下水道検定もいいですね。技術系の仕事は名刺に資格を書けないと顧客との信頼が築けません。

QUESTION3

今のうちにすべきことについてアドバイスをお願いします

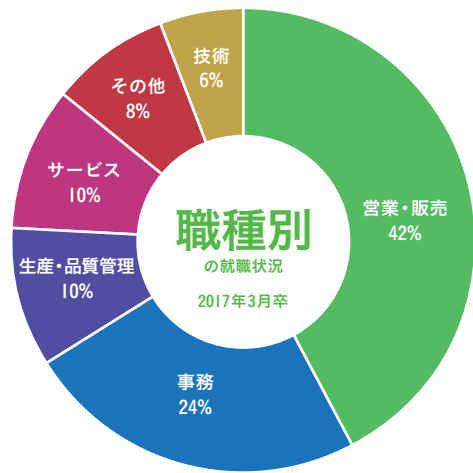
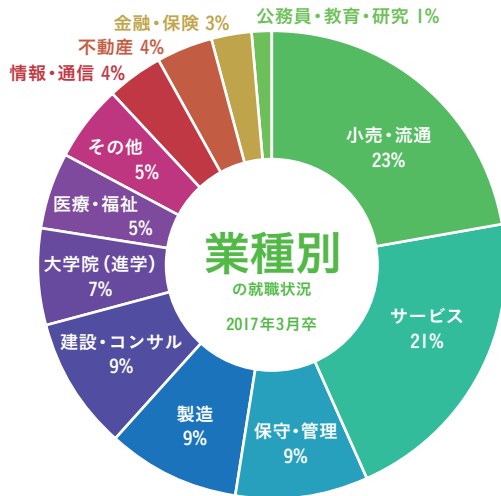
好奇心をもって夢中になれるものを見つけて欲しいと思います。大学で学んだことは働いてから「こういうことだったのか」と関連性、実感を見いだせると思います。

部活動は絶対に入っていた方がいい。就活の時に部活のことを聞かれるし、武器になると思います。わたしは体育会系だったので上下関係や上司との接し方、マナーなどが役に立っています。

コミュニケーション力を養ってほしいです。大勢の前で話すことに慣れることも大事だと思います。あと、留学生は留学生同士でも日本語で話すことです。

わたしたちの就職先は？

データで見る先輩の就職



業種別の就職状況を見るとおよそ4割の先輩が大学で学んだことを活かした専門分野に就職しています。また、およそ6割が専門外就職で、職種別の就職状況にあるようにその大半が営業職や事務職になっていて、専門性を活かした専門外理系職と呼ばれる領域に1割の先輩が就職しています。

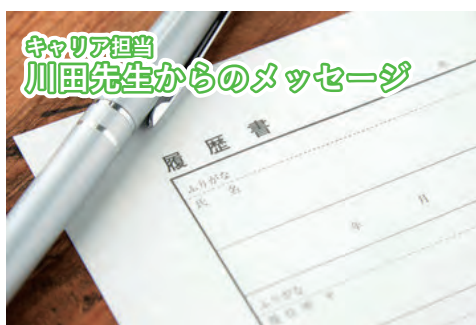
環境理工学科の各コースが目指す専門分野の就職先は下

表のようになります。コースによって目指す就職先が異なっていることがわかります。

みなさんが就職について考える際は、専門性を活かした業種や職種に就きたいのか、専門外で自分の能力を發揮できる職に就きたいのかについて考えてみましょう。

環境理工学科の各コースが目指す就職先

コース名	環境計画	地域生態	環境緑化	環境技術
小売・流通			花卉、園芸関連企業	理化学機器関連企業
サービス	マーケティング関連企業	JA、観光関連企業 環境NPO、飲食業		
保守・管理	資源循環企業			施設保守管理企業、環境計測・保全関連企業、製造業およびエネルギー供給業における生産・品質管理部門
製造		食品関連企業	エクステリア関連企業	分析機器・理化学機器メーカー
建設・コンサル	コンサルティング企業		造園関連企業、 造園・環境コンサルティング企業	建設・水道コンサルティング企業
不動産	不動産関連企業		ハウスメーカー	
公務員・教育・研究・進学	公務員、中学・高校教諭、研究員、学芸員、大学院進学			



就職活動をする段階になって、自分には履歴書に書けるような活動経験や資格がないことに気がきました・・・という話をよく耳にします。

成績や単位とは関係ない活動や資格であっても、ちょっと気になるものがあれば、今のうちにチャレンジしてみることをお勧めします。

結果的にその活動や資格とは関係のない分野に就職を希望することになったとしても、活動や資格取得の過程で得られた経験は、何らかの形で就職活動に活かされると思います。

インフォメーション

学生生活関連

春休み期間中の学内施設について

春休み期間中も図書館、クリエイトセンター、食堂、各課窓口等を利用できます。シャトルバスも通常運行していますので、ぜひ大学をみなさんの「やりたいこと」に活用してください。

学健保で宿泊費補助が受けられます

学健保(学生健康保険互助組合)ではみなさんの医療費補助だけでなく指定施設に宿泊した際に、2,000円の補助を受けることができる宿泊費補助制度があります。春休みの旅行等に役立ててください。詳しくは学生健康保険委員会発行の冊子「Health Walker」の記載を確認してください。

学生リエゾン室 平成29年度活動報告

	前期	後期 (12月末まで)	合計
開所日数	29日	19日	48日
利用者数	101人	70人	171人
日平均利用者数	3.5人	3.7人	3.6人

教務関連

後期・学年末試験について

後期・学年末試験は1月25日(木)～2月7日(水)に実施されます。試験の日時を必ず確認しておきましょう。

後期・学年末成績の発表

後期・学年末成績発表は3月16日(金)です。ポータルで必ず確認するようにしてください。

学科ガイダンス

環境理工学科の新2年生(17V)対象の学科ガイダンスを、3月16日(金)10:00から(場所:16606教室)実施します。履修等に関する大切な連絡がありますので、必ず出席するようにしてください。

Webでしか読めない特別コンテンツ

森・川・田んぼプロジェクトの活動紹介を中心としたコラムを前迫先生よりいただきました。特別コンテンツは学科通信アーカイブページ(<http://www.osaka-sandai.ac.jp/fc/dt/est/communication>)で配信中です。



学科通信を
盛り上げよう

●募集内容

- ・学科通信の愛称
- ・編集に参加したい人
- ・コラムなど記事を投稿したい人
- ・インタビュアー
- ・デザイナー

●対象

環境理工学科の学生

●受け付け・問い合わせ先

- daisan.rikoutsushin@gmail.com宛に①名前
②学籍番号③メールアドレスをお送りください。

編集後記

●キャリア特集というのはまだ早いと思う1回生の学生さんもいらっしゃると思いますが、インターンシップは2回生から受け入れる企業も増え、年々早まる傾向にあります。人生における働くことの意味を自分なりに見つけるなど就職活動に臨む前に整理をし、いつでも就職活動を始動できるようカギを準備しましょう。春休みにこれらを考えてもらう機会となるように特集を企画しました。

●フィールドプラクティスでネイチャーゲームリーダーの資格を得たみなさん、おめでとうございます。今後の講義・演習・レポート等の大学だけでなく課外活動でも活用できるはずですから、資格というカギを使って積極的に自己発展させてほしいと思います。

●あつという間に1年が過ぎようとしています。みなさんの大学生活1年目はいかが

だったでしょうか。春休みはこの1年を振り返り、次年度に向けて考えることのできるいい機会です。失敗もあったかもしれませんが、成功へのカギになりますから貴重な経験ができたと思ってほしいです。春休みでさまざまな経験をして4月には一回り成長したみなさんとお会いできることを楽しみにしています。

環境理工学科通信 第3号

発行 大阪産業大学 デザイン工学部 環境理工学科
環境理工学科通信 製作プロジェクト

発行日 2018年1月27日

編集 学生部委員 高浪龍平

デザイン 特定非営利活動法人 環境デザイン・エキスパート・ネットワーク

連絡先 daisan.rikoutsushin@gmail.com

Check

SNSで学科情報を配信しています!



Instagram
daisan_rikou



Facebookページ
大阪産業大学デザイン
工学部環境理工学科



自然と遊び、自然に学び、人と自然のハーモニーを奏でる

前迫ゆり(環境理工学科 地域生態系コース 教授)

環境理工学科に入学以来、およそ10ヶ月が過ぎました。みなさんは、充実した大学生活を送っていますか。「この大学で何を学ぶのか」という明確な目的を持って入学した学生もいれば、漠然と入学した学生もいることでしょう。日々、さまざまな「知」や「人」との出会いを通して、それぞれが自分の未来を考え始めている頃かと思います。

本学科の特徴は、フィールドプラクティスで代表されるように、理論だけでなく、地域に密着した実践型のカリキュラムが充実している点にあります。2年生から、さらに発展的な演習や講義が組まれています。大学はもちろんのこと、課外活動や独自の活動にも積極的にとり組み、みなさんが発展的に成長されることを願ってやみません。

さて、本学には学生が自主的に行う活動を支援する「プロジェクト共育」があります。十数あるプロジェクトのひとつ

である「森・川・田んぼプロジェクト」は、前迫が本学に着任した翌年に立ち上げ、現在、佐藤先生とともに学生をサポートしています。環境理工学科や他学科の学生30名以上が、生駒山、鍋田川、明日香の田んぼなどで調査・活動を行い、また地域との協働を進めています。写真は、農水省の棚田100選にも選ばれている奈良県明日香稲渚での「畦塗り、代かき、子供泥んこ遊び」の様子です。1年生から4年生までが米づくりや地域の行事に参画していますが、自然と遊び、自然に学んでいる学生のエネルギーを感じます。

「持続可能な地域と社会をデザインする」ことは、本学科のポリシーのひとつです。みなさんが自然との関わりを通して、人と自然のハーモニーを奏で、持続可能な社会づくりに寄与することを期待しています。